

## 外国語(英語)の教科書の使い方

### 思考を深める題材がより豊かに扱われ、生徒の心の成長を促します

小学校の4年間の学習では身近な題材を数多く扱っていることを踏まえ、中学校の英語の教科書では生徒の心に届く題材がこれまで以上に扱われています。また、題材について生徒自身が深く考え、思いや気持ちを伝え合うことを中心とした授業を行うことができるようになっていきます。内容理解や表現活動を行う授業を支える両輪が「文法」・「語彙」の学習になります。教科書の題材を生かす教科書の活用方法について一緒に考えてみましょう。

### 教科書は活用するもの — すべてを教え込もうとしていませんか？

生徒の心に届く題材を扱うために、教科書の本文はこれまでより長くなり、使われている単語の数も多くなっています。単元構想をする際、教科書の題材を生かすために、単元末活動としてどのようなゴールを設定するかを考えることから始めてみましょう。生徒をゴールに導くために、本文をどのように扱い、どのような単語を活用させるかが見えてきます。言い換えると、教科書で扱われている知識(単語など)のすべてをその場で定着させなくてもよいこともわかります。



## Part 2

翔太は自分の職業体験についてレポートにまとめました。

I went to a translation company with my friends on Career Day. We met Mr. Suzuki, a translator there. He told us about his job, and we translated some sentences. It was hard, but I enjoyed it very much.

Mr. Suzuki said to us, "To be a good translator, you must know English really well, but you should also have a good knowledge of Japanese. You need to practice using language skillfully to develop your sense of language." I was surprised to know that we need to study many things besides English.

He also said, "We have various things to translate. We need to learn about many different things, both general and specific. If you are interested in something, you should keep learning about it. It can be helpful in the future."



### Step 1

〈概要要点を理解するための質問〉

1. 翔太とクラスメートはどこで職業体験をしましたか？  
[  出版社    新聞社    翻訳会社 ]
2. 翔太たちが会った鈴木さんの仕事は何ですか？  
[  編集者    記者    翻訳者 ]

### Step 2

〈詳細を理解するための質問〉

1. What did Shota do at the translation company?  
— He \_\_\_\_\_ some sentences.
2. Why should Shota study a lot about Japanese?  
— He needs to \_\_\_\_\_ his \_\_\_\_\_ of language.

### Point

We have various things **to translate**.

Grammar   不定詞 (to + 動詞)   の原形

### New Words

translation  
translator  
translate(d)  
sentence(s)  
knowledge  
skillfully  
develop  
sense  
beside  
various  
specific  
helpful

左の教科書の活用方法について、一緒に考えていきましょう。

生徒が読みたいと思える導入は？ → p. 38へ

コミュニケーションを支える文法指導は？ → p. 39へ

増えた語彙の扱いは？ → p. 40へ

長くなった本文の内容理解は？ → p. 41へ

### 「授業は英語で行うことを基本とする」とは？

生徒が授業で英語に触れる機会を確保し、授業全体が英語を使った実際のコミュニケーションの場面になるようにすることが求められています。教師が教科書の内容を日本語で一方向的に解説しても、生徒が英語を使えるようにはなりません。そのため、英語による言語活動を授業の中心に据えることにより、生徒が英語を使用する機会を増やしていくことが必要です。教科書には、生徒自身が英語を使って聞いたり読んだり、話したり書いたりするための活動が豊富に用意されています。教科書には日本語が使われていますが、これは生徒自身が授業中に英語を使うための支援として添えられたものです。

## ①生徒が読みたいと思える導入は？

授業で教科書の内容理解を行うとき、生徒が「読みたい！」と感ずるような導入をどのように行ったらよいのでしょうか？

本単元では、職業体験という題材を通して、生徒たちが将来どのような仕事に就くかを考えることとなります。教科書本文を読む前に、生徒と題材をつなぎ、自分との関連を感じさせたり、必然性や必要性を感じさせたりするための導入を試みましょう。

## 1 教科書を開本する前に、生徒が題材に興味・関心を持てるような、生徒と題材との出会いを作りましょう。

題材と生徒自身の体験とを結びつけ、自分ごととして感じられるように、教科書を開本する前に、Teacher Talk をしましょう。生徒たちがこれから行う学校行事である職業体験学習の話をしてします。



先生： You have work experience program this year. **Where are you going?** **今年度行われる職業体験学習でどこに出かけるか、生徒に問いかけます。**

生徒 A： Midori Hoikuen.

先生： Ah, Midori Nursery School. **Where is it?** **生徒をさらに巻き込みながら、題材とつなげていきます。**

生徒 A： In Asahi-cho. Near Midori Mart.

先生： I see. **You have many things to do there, right? What will you do there?**

生徒 A： Well, I'll play with small children.

先生： You'll play with kids. **It's a lot of fun and a very important thing to do for nursery school teachers.** **自然な場面・状況の中で導入したい文法事項を使うこともできます。**

何の脈絡もなく教科書を開いて本文を読み始めるとしたら…。生徒にとってはなぜその題材に触れ、本文を読んでいくのかわかりません。生徒と題材とをつなぎ、知りたい、読んでみたい、という気持ち呼び起こすようにしましょう。

## 2 教科書で扱われている内容と生徒をつなげましょう。

教科書本文には、職業体験学習が取り上げられています。その内容につながるようやり取りを続けます。



先生： A-san is going to Midori Nursery School. How about you, B-san?

生徒 B： I'm going to a convenience store.

先生： Sounds nice. **You'll have a lot of work to do there. Tell me some examples.**

生徒 B： I'll help customers and... , clean the floor.

先生： I see. Good luck, B-san. Then, C-san, where are you going? **新出文法事項を文脈の中でうまく使っています。**



この単元のターゲット文が場面や状況の中で使われています。どのように使われるのかを生徒に体感させ、本単元のターゲットを理解するための伏線とすることもできます。

## 3 開本し、教科書を使った学習をスタートしましょう。

職業体験の話題で生徒とのやり取りを続けながら、教科書を開くきっかけを作ります。

先生： In this section, Shota and his classmates finished their work experience. Where did he go? And what did he do there? **You'll find the answer through reading the textbook story.** Now, open your textbook to page XX.

1と2を経ることで、自然な流れの中で教科書を開本することができます。

## ②コミュニケーションを支える文法指導は？

解説と問題演習が多くなってしまい、生徒が文法を活用できません。どのように指導したらいいのでしょうか？

## 1 教科書の「文脈」を活用しましょう。

教科書を活用した文法指導について考えてみましょう。

「文法を学習するために、教科書本文があり、言語活動を行うのでしょうか？」

それとも

「教科書本文を理解したり、自分の考えなどを表現したりするために、文法を学習するのでしょうか？」

もちろん後者です。文法はコミュニケーションを支えるために学習します。理解と表現ができるようになるための文法学習です。

教科書で扱われる新出文法事項は、会話文や長文の中でコミュニケーションを達成するための目的をもって使われているため、文法の形と意味の理解に加えて、**使用場面や働き**を学ぶことができます。

不定詞の形容詞的用法を例に考えてみましょう。

翻訳者の仕事についての教科書本文の説明の中で

We have various things. 「さまざまなこと」ってどんなことがあるのでしょうか？

We have various things **to translate.** 「翻訳をするさまざまなこと」

= 「いろいろ分野の内容を翻訳する」ことがわかります！

< to + 動詞の原形 > の形が、**前の名詞に情報を加えて、意味を伝える文にする働き**をしています。

内容理解を中断する形で、文法の解説に時間を割いていませんか？教科書では、文法のまとめページは単元のあとに用意されています。



## 2 練習と言語活動を繰り返しましょう。

<練習> ⇔ <言語活動> 練習と言語活動を行ったり来たりします。

教科書には、**知識を生きた技能として活用**できるようにするための**練習**、そして**各パートや単元のゴールとしての言語活動**が設定されています。英語を使って考えや気持ちを伝え合うなど、具体的な課題に向けて指導をつなげていきます。

<練習> 翻訳者の鈴木さんからどのようなアドバイスをもらったでしょうか？

例) you / many things / to learn

<言語活動> 将来の夢の実現のためにどんなことをするとよいか、ペアで話し合しましょう。

例) 生徒 A： I want to be a translator. I have a lot of things to learn.

生徒 B： Translator? You have many things to translate.

生徒 A： Right. I have many books to read. I need general and specific knowledge to be a translator.

生徒の発話や英作文に文法の誤りがあるのは自然なことです。言語活動の中で誤りを繰り返ししながら、正確性が高まり、文法の定着につながります。





③増えた語彙の扱いは？

新出単語を単語リストにして覚えさせています。すべての単語を平等に扱っていると、単語練習だけで英語の授業が終わってしまいます。どうしたらいいですか？

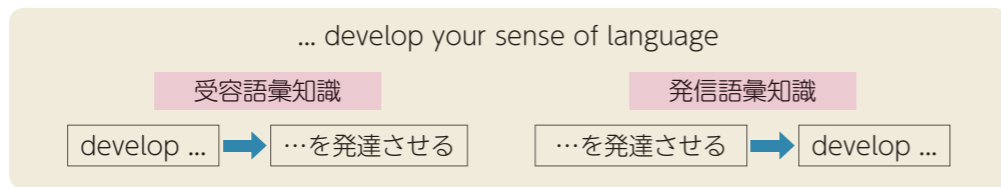
1 理解できればよい単語と、使えるようになるべき単語があります。

**New Words**

translation  
translator  
translate(d)  
sentence(s)  
knowledge  
skillfully  
develop  
sense  
beside  
various  
specific  
helpful

左のような新出単語リストの単語をすべて生徒がスラスラと言えたり、何も見ずにスペリングを書けるようになる必要はありません。語彙知識には**受容語彙知識**と**発信語彙知識**という区別があります。**受容語彙知識**は聞いたり見たりすれば理解できる知識で、**発信語彙知識**は言えたり書いたりできる知識のことです。内容理解が主な活動となっているページに出てきた単語は**受容語彙知識**に留めておいて問題ありません。しかし、その単語を使って生徒に言語活動をさせる計画があるのであれば**発信語彙知識**を身につける必要があります。

また、**新出単語は重要な語**という意味ではありません。新しく出てきたためにリストになっているだけです。また、**太字の単語は重要な単語**ですが、このような単語は繰り返し出てきますので、生徒たちが卒業までに覚えるように、長い目で語彙指導をしましょう。



上の単語リストの例だと、translationはこの課を理解するためには、読んで理解できればよい単語です。一方、develop はのちの言語活動で使うことを見越しているため、言ったり書いたりできるようにしたい単語です。



2 トピック固有の単語は軽く扱きましょう。

令和3年度に発行されたすべての教科書で、重要な単語は新出単語リスト内では太字で示されています。また、発行されている6社の教科書すべてに現れる単語は、全部で732語しかありません。

教科書に出てくる単語は「このトピックだから出てくる」という単語も多くあります。例えば左上のリストの中では、translate がトピックに強く関連している単語の例です。そのような単語は文脈で意味がわかればよしとし、新出単語リストで太字になっている単語をできるようにさせることが大切です。

新出単語リストに出てくる語彙すべてをリストにして、全部覚えさせようとしていませんか？

3 リスト学習に頼りすぎないようにしましょう。

単語をリストにして配布したり、フラッシュカードで覚えさせたりする場合もあると思います。しかし、単元の初めに、その単元に出てくる単語すべてをリストにして覚えるなどしていませんか？単語をリストやフラッシュカードで覚えさせるのは、授業時間の10分の1程度に留めましょう。リストやフラッシュカードで単語を覚えさせたとしても、その単語を教科書本文の中でも扱って、場面や文脈の中で語彙に出会わせるようにしましょう。

新出単語リストに載っていない初めて出会う単語は覚えさせる必要はありません。develop が出てきたからといって、development まで教えないようにしましょう。

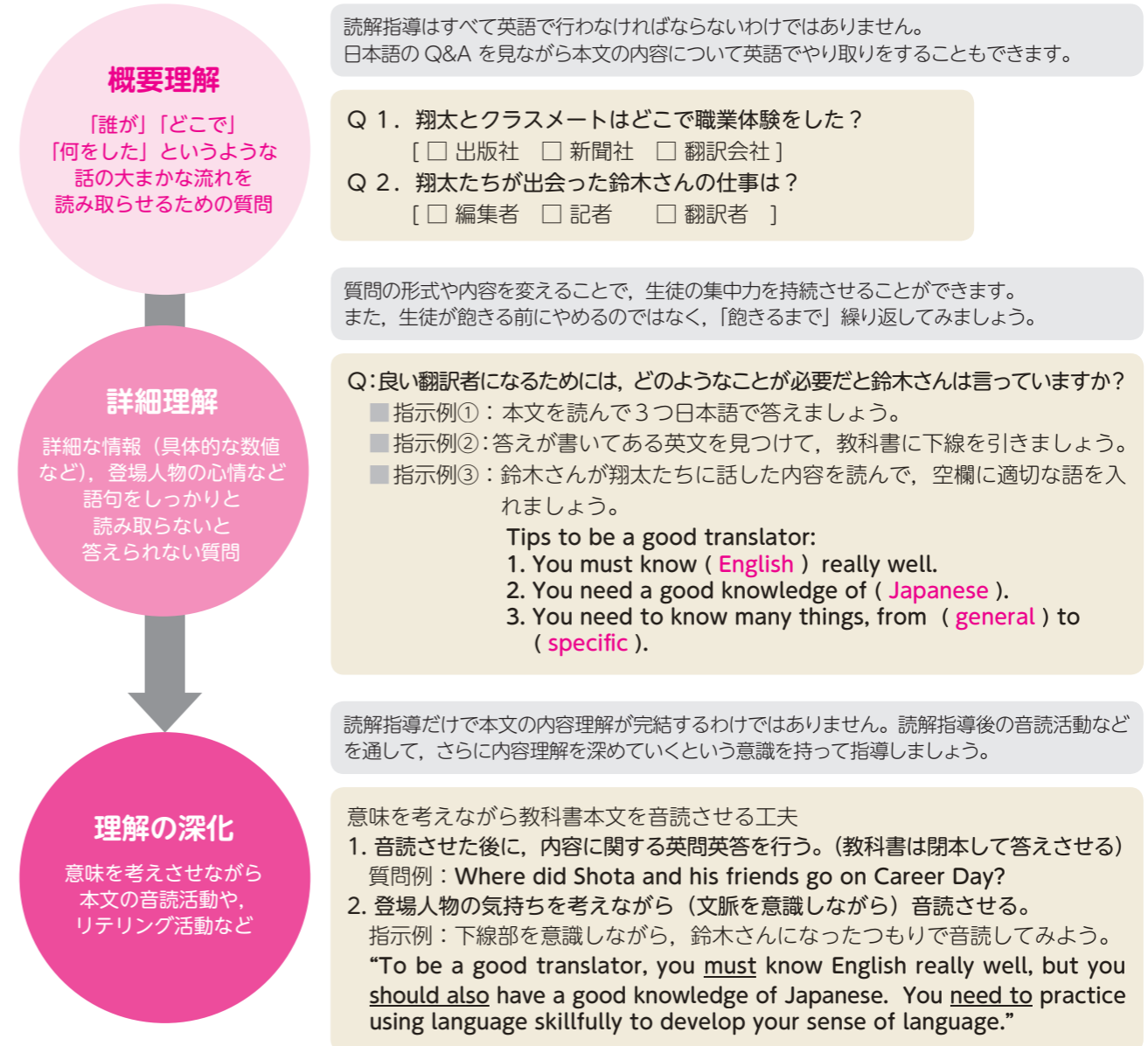
④長くなった本文の内容理解は？

本文の量が多くて、生徒に理解させるのに時間がかかってしまいます。教師が説明するのではなく、生徒自身に本文を読ませるようになるにはどうしたらいいですか？

1 1回ですべてを理解させようとせず、段階を踏んで繰り返し本文を読ませることで徐々に理解を深められるようにしましょう。  
(本文を日本語に訳すだけでは表面的な理解や「わかったつもり」で終わってしまいます。)

教科書本文を一度読んだだけで、本文の詳細を理解させるのは無理があります。

一度で理解できる内容には限りがあり、個人差もあります。だからこそ、繰り返し読む機会を保障することで、生徒は安心して読解活動に取り組むことができます。



読解指導はすべて英語で行わなければならないわけではありません。日本語のQ&Aを見ながら本文の内容について英語でやり取りをすることもできます。

- Q 1. 翔太とクラスメートはどこで職業体験をした？  
[  出版社  新聞社  翻訳会社 ]
- Q 2. 翔太たちが出会った鈴木さんの仕事は？  
[  編集者  記者  翻訳者 ]

質問の形式や内容を変えることで、生徒の集中力を持続させることができます。また、生徒が飽きる前にやめるのではなく、「飽きるまで」繰り返してみましょう。

- Q: 良い翻訳者になるためには、どのようなことが必要だと鈴木さんは言っていますか？
- 指示例①: 本文を読んで3つ日本語で答えましょう。
  - 指示例②: 答えが書いてある英文を見つけて、教科書に下線を引きましょう。
  - 指示例③: 鈴木さんが翔太たちに話した内容を読んで、空欄に適切な語を入れましょう。
- Tips to be a good translator:**
1. You must know ( **English** ) really well.
  2. You need a good knowledge of ( **Japanese** ).
  3. You need to know many things, from ( **general** ) to ( **specific** ).

読解指導だけで本文の内容理解が完結するわけではありません。読解指導後の音読活動などを通して、さらに内容理解を深めていくという意識を持って指導しましょう。

- 意味を考えながら教科書本文を音読させる工夫
1. 音読させた後に、内容に関する英問英答を行う。(教科書は閉本して答えさせる)  
質問例: Where did Shota and his friends go on Career Day?
  2. 登場人物の気持ちを考えながら(文脈を意識しながら)音読させる。  
指示例: 下線部を意識しながら、鈴木さんになったつもりで音読してみよう。  
“To be a good translator, you must know English really well, but you should also have a good knowledge of Japanese. You need to practice using language skillfully to develop your sense of language.”

読解指導以外のことまで欲張っていませんか？

生徒の読解活動を妨げるような行き過ぎた語彙指導や文法解説は行うべきではありません。

- 行き過ぎた指導の例1: 本文を読ませているときに派生語の指導を行う。
- 行き過ぎた指導の例2: 内容理解のための英問英答をしているときに、真っ先に文法ミスに注意する。